



中京区
シンボルマーク

市民しんぶん中京区版

中京しんぶん

10/15

推計人口：109,794人
男性：50,028人
女性：59,766人
世帯数：60,625世帯
(令和3年9月1日現在)

中京区役所ホームページ

中京区役所

検索

みんなでアクション！

中京区基本計画の推進に向けて

戦略4「地域ごとの歴史文化を生かした個性あるまちづくり」編

第2弾

新たな中京区のまちづくりの指針「第3期中京区基本計画」の目標実現には、一人ひとりの取組の積み重ねが欠かせません。このコーナーでは、計画に登場する「7つの戦略」を題材に、普段の生活の中で実践できる「アクション」を考えていきます。第2弾は「芸術の秋」にちなんで、戦略4について考えます。

中京で楽しむ 芸術の秋



古くから中京区は、茶道や華道などの文化活動が盛んで、人々の暮らしの中に着物や茶器などの伝統産業品が溶け込んできました。伝統産業品は、地域の気候や風土に合うようにつくられ、長年培われてきた知恵や技術の結晶と言えるもので、季節ごとの行事を楽しんだり、歴史文化に触れたりする際には欠かせません。

今回は創業310年を迎えられた「堀金箔粉」さんに伝統産業品の魅力について伺いました。

Q1. 京都での創業の経緯を教えてください。

金箔職人をめざし、近江今津から京都にきた砂屋伝兵衛が、現在の両替町御池で修業し、1711年に西洞院五条にて創業しました。その後、蛤御門の変によって、現在の寺町御池に移転しています。当時は江戸幕府からの金の配給を受けて金箔の製造をしていました。

京都は日本の文化・芸術の中心として栄え、中でも寺院神社や染め、織など伝統産業品には金箔が使用されることが多く、金の需要が非常に高い場所でした。戦時中は金の使用は政府に統制され厳しい状況でしたが、戦後には寺院神社等の再建により息を吹き返し、今なお黄金の上質な輝きは人々を魅了しつづけています。



昭和初期の店先

明治貨幣局からの許可書

Q2. 伝統産業品の魅力について教えてください。

伝統産業品という名称ではありますが、「伝統」にとられないところが魅力的だと思います。

例えば、金箔の場合は、昔ながらの純金箔・粉の販売や箔押し(金箔をつけること)、装飾加工のほかに、現在では日本酒や料理に加える食用の金箔の製造やオリジナル商品の販売を行っています。金箔そのものは変わらなくても、その用途は無限の可能性を秘めており、未来永劫、金の魅力を継承するためには職人の技はもちろんのこと、さまざまな提案に対応する製品開発力・企画力が必要不可欠です。それらの力を結集させ、現代の生活の中に溶け込んできたことが、310年間も続けられた秘訣だと思っています。



検品の様子

また、伝統産業品を使うことは、最近注目されているエシカル消費(※)の考え方も一致します。地域の素材を生かして作られた伝統産業品は、何度も修理しながら長く使えるだけでなく、木材や竹、石、絹などは将来「自然に還す」ことができ、持続可能な社会の構築につながります。そして何より地域で大切に守られてきた伝統産業品を使うことは、地域の歴史や文化に目を向ける機会にもなります。

持続可能な暮らしのヒントやさまざまな魅力が詰まった伝統産業品。皆さんもこの機会に一度、暮らしの中に取り込んでみませんか？

※消費者それぞれが社会課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。

動画公開中！

戦略7 持続可能なライフスタイルの継承・発展 編

第3弾

区民が自ら計画推進のための事業等を検討する「中京区基本計画推進会議 企画会議」にて、戦略7について、区内の活動家の皆さんを交えてトークセッションを行いました。

その様子を動画(「中京みらい図鑑」)にまとめていますので、ぜひご覧いただき、環境のために一人ひとりが暮らしの中でできることを考え、取り組むヒントにしてください★



動画はこちら



わたしたちの行動や生活スタイルの変化で環境対策を大きく変えていきましょう！

問合せ 企画担当 (☎812-2421)



感染症対策の再徹底をお願いします！

STOP コロナ！ 誰にもうつしません！



- ✓ ワクチン接種後も感染症対策を継続する
- ✓ 熱やのどの痛みなどがある時は自宅で過ごす
- ✓ マスクを正しく着用し会話はひかえめに

「もしかしてコロナかも」と思ったら、まずは電話で相談を！

※新型コロナワクチン接種については4面をご覧ください。

身近な医療機関

きょうと新型コロナ医療相談センター 075-414-5487

365日24時間
京都府・京都市共通